

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022~2023 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第2082回例会 2022年10月27日(木)
「 C. A 地区大会報告 」 / 担当 会長・幹事

前例会の記録 第2081回 2022年10月20日(木)
会員卓話 山田文夫会員 高井良祐会員
西田健一会員 喜久生明男会員
テーマ 「交換留学生をお世話して」
担当 国際青少年交換委員会

*ロータリーソング「我等の生業」斉唱

*会長あいさつ 藤村伸隆会長

本日は、会員卓話で山田さん、高井さん、西田さん、喜久生さんの4名の方が「交換留学生をお世話して」とのテーマで卓話を頂きます。どうぞよろしくお願い致します。



先日10月14日に東海北陸道グループ臨時会長・幹事会が開催されました。2025~26年度国際ロータリー第2630地区ガバナーの選出についての議題でした。4年前にもガバナーが選出されれば、1クラブで支えるのは難しいので全クラブで支える事が同意されているとの事でした。どのクラブも中々難しいとの意見が多かったです。10月末日までに各クラブとも報告下さいとの事なので皆さん会員全員に

文章で案内しますのでよろしくお願い致します。お話は変わりますが、10月15日市政功労者表彰式に出席しまして、感謝状を頂いてきました。これも長年の関中央ロータリークラブの活動の成果だと思えます。感謝状今日、お持ちしておりますのでご確認下さい。

又、10月17日 東海北陸道グループのゴルフコンペが開催されました。我クラブからは、壮年の部に山田さん、喜久生さん、高井さん、川村さん、そして私で5名参加しました。青年の部は吉田さん一人の参加でした。私も長年参加していなかったんですが、今回久しぶりに参加させて頂き思いっきり一打あたりのコストは安くプレイしてきました。一緒させて頂いた方達には迷惑おかけしましたが、私は楽しく過ごさせて頂きました。久しぶりに参加した私と言う事ではないですが、次回は5月15日各務原カントリーにて開催予定です。もう少したくさんの方に参加頂き、関中央ロータリークラブの元気な様子を出せたら良いなと思いました。

又、10月8日、9日の関刃物まつりには、ポリオ募金と言う事で皆さんご参加ありがとうございました

た。161,540円が集まり、関ロータリーさんと折半という事で関中央ロータリーとしましては、80,770円の寄付と言う事になりました。今後もポリオ募金につきましては機会があれば継続して行きたいと思いますので、今後ともご協力お願いしまして挨拶とさせていただきます。

*会員卓話 『交換留学生をお世話して』

国際青少年交換委員長 喜久生明男委員長

本日は、国際青少年交換委員会の担当です。この10年間には交換留学生が来ていませんし、送ってもいません。そんな中、過去にお世話したロータリアンに苦労話や思い出話、楽しかったこと、失敗したことなどを語っていただき、青少年交換留学の実際を知っていただき、今後再開されるであろう、交換留学生の受け入れに気後れすることなく、参加していただくことを願っての卓話にしたいと思います。私を含めた4名の会員に5~8分程度のお話を伺います。

トップバッターは山田文夫さんです。

2009(Benjamin Dennis Roache, Australia) (関有知高)



9月1日のガバナー公式訪問の

時、喜久生会員より「交換留学生をお世話して」をテーマに話してくださいと依頼されましたが、随分前のことで記憶がほとんど残っていません。

最初に受け入れた生徒は2009~2010年1月にオーストラリアのマリオンクラブ9520地区から来日しています。今から12年も前のことでほとんど記憶がありません。でも間違いなく預かっています。名前はベンジャミン君、通称ベン君と呼んでいました。関有知高校に受け入れて頂いていました。1月に来日しており私の家で4回目のホストでしたから日本語はかなり話せるようになっていましたし、食事特に苦労した記憶はありませんでした。我が家の受け入れは7月25日~9月25日でちょうど夏休み期間中で家内がいうには弁当作りが大変との事でしたが、休みの期間は助かりました。

当時、我が家は7人家族で、孫も小学3年、1年、幼稚園の年中組と幼く思い出が残っているのか

と聞きましたらそれぞれあるそうです。特に一番上の孫娘は今大学3年生ですが、4年になり就職が決まりましたらオーストラリアにベンに逢いに行きたいと言っています。又、受け入れ当時は夏休み期間を利用して大阪や温泉に息子が連れていきました。夏休み期間中、ベン君は自転車で随分遠くまで行き、門限の9時までに帰らず外で待った記憶があり、自転車も随分修理に出した覚えがあります。その後、台湾の景文高校の女子生徒2名を預かりましたが、この方々とはいまだに家族共々付き合っています。訪台した折、食事したり、又、ラインで連絡を取り合っています。こうして異国の人と触れ合うことは視野が広がり良いことだと思います。是非、皆様も機会あれば受け入れて楽しんでください。

2番は、高井良祐さんです。

2009(Benjamin Dennis Roache, Australia) (関有知高)

「青少年交換プログラムは

素晴らしい」



今年のRIのテーマ、イマジン ロータリーを踏まえて考えるに、私の場合、過去を振り返りイメージすると青少年交換プログラムの経験が思い出されます。受け入れの経験は大変さもありますが、別れという寂しさも残ります。我が家では長女が96年8月~97年8月まで9520地区南オーストラリアのアデレード東方、町に信号が一基しかないマリーブリッジというぶどう畑の中の小さな田舎町のモビロングRCにホストしていただきました。この派遣を機にオーストラリアの男子4名、女子1名、ベルギーの女子2名をホストしました。長女の派遣や、留学生の受入経験が本人だけでなく兄弟姉妹や従姉弟やお互いの受入高校の生徒たちにも大きな影響を与えたと思います。これは私も含め、当クラブは1978年から2013年までに38名の受入、また派遣は1978年から2013年までに36名の高校生が世界の各国で一年間の留学を経験してきました。青少年交換生のオリエンテーションの時、RCが無くなっても青少年交換プログラムだけは永遠に残るだろうと話されました。この10年近く派遣も受け入れも残念ながらありません。当クラブで派遣、受入を経験された会員も少な

くなりましたが、この素晴らしさは体験してみないと分からないかと思います。是非ともお子さん、お孫さんを派遣、異国の高校生をホストして一緒に生活し、風俗、文化、習慣等の違いを体験している事をイメージしてみてください。きっと素晴らしい世界が見えてくるでしょう。

3番は、西田健一さんです。

2012(Izaac Allyn Smith, Australia) (関高)



私が、交換留学生を預かったのは3人です。自分の子供が留学したわけでもありませんが、当時預かる人が少なかったからです。というのも自分の子供を留学させた会員が留学生を預かることなく退会等をしたためです。今回、喜久生先生から、交換留学生の話をしてくれとのこと、思い出してみようと思っても、ほとんど思い出せませんでした。最近読んだ本に「70歳から一気に老化する人、しない人」という本を読みました。その中で認知症はある日突然来るのではなく、人によっては20年以上にわたって徐々に進行しているということが書いてありました。自分も認知症にかかったのかと一瞬思いました。そんなことで、あんまりお話するほどエピソードはありませんが思い出して少しお話をさせていただきます。私が預かったのは3人です。一番初めは、2000年、約22年前に来日のネイザン ハワード。彼が後に自分の義理の息子になるとは、夢にも思ってもいませんでした。二人目は2003年に来日のミッチェル カイル ザンデ。三人目は2012年に来日した、アイザック オーエン スミスです。この3人についてほんの少し思い出したことをお話いたします。まずネイザンについてお話をします。同じ時期に関RCのホストの留学生で関商工に通学していたジョシアンが、ネイザンを訪ねて自宅にやってきました。丁度自分は庭の垣根の剪定をしていて切った枝等がたまったのでネイザンに手伝ってくれといったところ、ジョシアンが「自分たちを奴隷のように使うつもりだ」と、声高に言っているのが聞こえてきませんでした。頭にきたが、自分一人で片付けました。一緒に作業すると心が和むと思ったからなので

す。RIの留学生の方針は家族と一緒に仕事等もしたりすることも推奨していたのにも思ったものでした。

又、自宅の駐車場でバーベキュー大会を会社の若い社員や女子社員も招待してやったことを覚えていません。それからもう一つはどこかで留学生の大会があってその帰りに茨木県と三重県に留学していた女子留学生を連れてきて泊めてくれと、ジョシアンが言ってきました。家内が断るとお金を払うからといって必死に頼みました。結局泊めてあげましたが、もちろんお金などもらいませんでした。二番目のミッチェルは、学校帰りの途中で車に接触したらしく相手の運転していた人が自宅まで送って来てくれたことがありました。一步間違えると大変なことになるどころでした。後日、その人は新品の自転車を持ってきてくれました。又彼は、帰国する最後に預かったのですが、帰国の荷物をまとめる時に荷物の重量が、オーバーしていたので家内がそれではダメだといったのですか聞かず、大丈夫、大丈夫といって空港に行つて案の定、荷物検査の時、重量オーバーで引っ掛かり、あわてて他の留学生に荷物を分けて持ってもらったことを覚えています。三番目のアイザックについては、ちょうど梅雨時に預かったので家内が、食中毒を大変心配して弁当を作るのに苦労したと言っていました。また彼はふりかけの「のりたま」が大好きで、いつも弁当にのりたまのふりかけの小袋を弁当につけていましたと家内が言っていました。いま、私の娘もオーストラリアにいますが、時々Face Timeで娘と話をしていますが、アイザックから時たま娘にも連絡があるらしく、最近結婚したとメールに写真を送ってきたのを見ました。いずれにしても、留学生を預かるということは、昼間は自分が家にいないわけですから家内がいてできたことですから大過なく預かれたことに感謝をしています。最後に3人の面倒を見てきたのですが誰一人、帰国してから電話1本、手紙1通もくれなかったのが残念に思います。そんな付き合いだったのかなと悲しい気もします。何はともあれ、無事にできたのも、家内が一生懸命やってくれたからで自分は何にもしていません。家内に感謝しながら報告を終

わかります。

4番は私、喜久生明男です。

2005(Jeann Natalie Klingberg, Germany) (関商工)

私は2005年10月9日～12月11日までの季節の良い約2ヶ月、ドイツから来た背の高い女の子、ナタリーさんをクリニック2階の和室1間を提供してお世話しました。日常の3度の食事と洗濯、入浴などは家内の仕事でしたが、最初の頃は手が抜けなく大変だったと思います。私はと言えば日中はクリニックの1階で仕事でしたので、直接的な会話は朝夕の食事時のみとなります。会話は食べるものの話が多く、身振り手振りで英語を交えてのものでした。6時間以上は学校生活ですので、家庭内での会話はそんなに気にしなくて良いと思います。本人のくつろげる空間を提供することが一番だと考えていました。東京へ研修会があるときには、家内と3人で新幹線を使い東京へ行き、私は研修会、二人は東京見物でした。ホッケーのドクターで天理のホッケー場へ行ったときにはホッケーを観戦した後、奈良のホテルの和室で宿泊し(自分の娘として扱ったので三人で川の字で寝ました)、翌日は京都見物をしました。私も初めての京都御所の参観をして、湯豆腐を頂きました。紅葉を訪ねてせせらぎ街道を走った時にはうっすらと積もった雪が残っており、紅葉と雪の二重奏に感動していました。本巢の柿狩りでは(柿の木一本の年契約オーナーでした)、背の高いナタリーのお陰で、足場を組まずに柿を採ったことを思い出します。柿というフルーツも最初だったようです。

ナタリーのお陰で、出張の休日には東京、京都奈良に連れ出して観光し、日曜日には高山、柿狩りと自分も初めての体験と一緒にすることができました。最初の1週間は気を使っていましたが、慣れてくると、居るのが当たり前になり、お互いにリラックスして生活できたと考えます。お世話の最後の日には別れるのが寂しい限りでした。

お世話のコツは自分の子供として扱う事だったと思いました。同年代の子供か孫かが一緒に生活していたら、ナタリーはもっと楽しかったのだらうと思って



います。こちらが気かけると、相手も気にすると思います。留学生をお世話して、こちらにも楽しい思い出を頂きました。最初の1週間くらいはよそよそしく、気を使ってしまいましたが、やがて居るのが当たり前になってくるものだと思います。

同世代の子供が同居していたら、留学生も家族も楽しさ倍増したのではと思っています。

小学生、中学生、高校生の子供さんのいる家庭の皆さんは、是非に留学生をお世話することを勧めます。

***10月度 IGM**

レポーター 森 敬君

令和4年10月7日(金)味のまごろくさんにてIGMを開催致しました。出席者はカウンセラー



喜久生明男さん、R情報委員 山田文夫さん、世話係 吉田和也さん、レポーター 川上勉さんでしたが、私、森がメンバー外から出席したところ川上さんよりレポーターを代われとの事で私から報告する事になりました。今回、もう2名出席義務者がおられたのですが都合が悪く5名の会議となりました。世話役はどこまで段取りすれば良いのかと吉田さんの質問がございましたが、「IGMはR情報委員の司会で行われるのが本当ですが、まあお願いします。」と私が答えました。関中央ロータリークラブ内規10のIGMの(ア)に記載されていますので良かったら確認してみてください。

カウンセラーの喜久生さんから助言を頂きました。RI会長 ジェニファー・ジョーンズさんが「イマジジン ロータリー」とテーマを掲げ、ガバナーの高橋さんがそれを訳して「ロータリーの心と原点」を大切に、描こう明るい未来を」としました。これは当クラブの藤村会長も同じで「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」という事なので、今日は夢を語ろうと言われました。ここで乾杯となりそうでしたので、私が「少し話をさせて下さい。」とお願いをしました。今年度、今回で4回目のIGMに出席しますが毎回お話をさせていただいているのが、藤村会長が2630地区高橋ガバナーよりオープン例会をやるように指示されています。会員増強に

つながるオープン例会をやって欲しいとの事なので、これをテーマに少し話をして欲しいとお願いしました。前回の IGM では、ゴルフコンペに入会対象者となる方を誘ったらどうかと話しをしたところ吉田さんより商工会議所青年部を誘ったらどうかとの意見がありました。これについては、誘ったら良いのではないかと思います。また、吉田さんより定期的にゴルフコンペをやったら良いとの意見もありました。ごめんなさい。親睦委員長も親睦副委員長も幹事もゴルフをやらないので申し訳ありません。そして山田さんより斬新で大変貴重な意見がありました。入会に当たりネックとなるものを考え、それを変えたらどうかとの意見でした。会費がネックとならば下げたら良い。但し、値上げしたのは自分が会長だった時とも補足されていました。女性会員を入りたいのならば会費を減額にしたらどうか。家庭のある女性では夜例会の出席は難しいので昼例会もやったらどうか。そして趣味で会員を誘ったらどうか。例えば、魚釣り同好会や山登り同好会など。前回の IGM でも話が出ましたが、昔は野球で誘ったとの事です。甲子園で野球が出来たそうです。喜久生さんも昔は野球を一生懸命にやられたと言っておられました。私はすでに酒づくり同好会に入っておりますが、ワイン同好会、ウイスキー同好会、ビール同好会などもあったら良いのではないかと思います。全部入会致します。川上さんは、山田さんは良い事を言われるとするもののロータリアンたる者が年会費の 22 万円が払いたくないような事ではどうなのか？とも言うておられました。確かに高いと言われれば高いですし、逆に月に 2 万円弱が払えないようでも問題かとも思います。難しい問題です。この件については慎重に話し合う必要があるかと思えます。ここからは乾杯をして、お酒を飲みながら色々な話をしました。川上さんは昨日のお酒がまだ残っていて「あまり飲めない」と言うておりましたが、いつも通り生ビールの後は、湯飲みで熱燗を飲んでいました。山田さんから「75 歳にもなるのに本当に良く飲めるな。」と感心しておられました。本当に良く飲まれます。喜久生さんは、当クラブの活動が大好きだと言っておられました。特に

ひとり親家庭の支援が一番好きだそうです。1人で出来ない事も、クラブの皆でなら出来るのだと言っておられました。私も思いますが、この事業は大切に長く継続しなければいけないと思います。それから息子さんを当クラブに入会させて頂けるそうです。息子さん本人は他クラブを希望されているようですが、ダメだと説得されたそうです。山田さんですが、アントニオ猪木が同じくらいの歳だけ亡くなられた猪木さんの名言の 1 つ「元気ですかー！元気があれば何でもできる」に対して「本当のことや、元気があれば何でも出来る」と言われておられました。他にも「例会に出にくいならば WEB 会議をやったらどうか？」とか、川上さんからは「旅行例会をやったら良いのではないか？」とか、吉田さんからは広く知ってもらう為に「Facebook をやったらどうか？」などの意見がありました。どれも大変良い意見であり検討する必要があると思います。2 時間 30 分、知恵を出し合い、夢を語り合い、大変良い会議となりました。まとめとして、趣味であったり自分を高める例会卓話であったり、奉仕活動だったり、楽しみながら、魅力のあるクラブ・夢のあるクラブにして行くことが大切ではないでしょうか。そして、それを発信していくことが会員増強につながるのではないのでしょうか。最後に、今年度 4 回の IGM 全部に参加させて頂きましたが皆さん個々に色々な良い意見を持ってみえると思えました。この意見を吸い上げより良いクラブにして行かなければいけません。皆が大好きなクラブ、それこそが仲間が集まるクラブだと思います。



*出席委員会

会員数 29 名、本日の出席 19 名です。

*ニコボックス委員会

- ・会長・副会長、幹事

本日は交換留学生をテーマに卓話を戴きます。山田文夫さん、高井良祐さん、西田健一さん、喜久生明男さん宜しくお願ひします。

- ・喜久生明男君

10 月 14 日 文部科学省にて「生涯スポーツ功勞者」表彰を大臣より受けました。

19 名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

- ・2024-25 年度ガバナーノミニ一決定宣言について
名張ロータリークラブ 亀井 喜久雄さん
- ・ガバナー候補者 立候補・推薦について
- ・地区大会について
- ・例会終了後、指名委員会を行います。

<次例会の案内>

第 2083 回 2022 年 11 月 6 日 (日)

森林整備例会 (里山)

担当 環境保全・インターアクト委員会